

災害発生に備えて、今取り組むべきこと

荒砥鉄橋に押し寄せる濁流（8月4日）

避難場所に避難する必要があるのか確認しましょう

避難とは、「難」を「避」けることです。自宅が浸水する可能性がない場所や土砂災害の危険性がない場所にあるなど、自宅で安全が確保できる場合には、自宅に留まることも非常に重要となります。

本町では、町のホームページでハザードマップを公開しています。また、地区によっては防災マップなどを作成しているところもありますので、それらをご確認いただき、自宅が安全かどうかを確認しておきましょう。もし、自宅に災害の危険性があるとわかった場合、災害発生の恐れがでてきたときには避難所などへ避難してください。

※避難所では感染症対策を実施します。

白鷹町ハザードマップはこちら⇒



安全な場所に住む親戚や友人宅への避難も検討しましょう

避難所だけが避難先とは限りません。安全な場所に住む親戚や友人宅への避難も非常に重要です。これは、避難所での密集・密接の回避にもつながるため、感染症対策としても有効となります。今のうちに、親戚や友人の方に相談しておきましょう。

「防災情報アプリ」に登録しましょう

災害の発生状況や感染症対策のため、避難所を変更・増設する場合があります。その際は、防災行政無線（Jアラート）や防災情報アプリ、町ホームページなどで随時お知らせします。特に、いち早く確実な情報を入手するツールとして、防災情報アプリが最も有効です。

ぜひ、登録しておきましょう。



iPhone版



Android版

アプリのダウンロードはこちらから

アプリ登録方法は
こちらから



避難場所へ持っていくものを準備しておきましょう

町で準備できるものには限りがあります。また、これまでの非常時持出品に、感染症の感染予防に必要な用品も加える必要があります。食料、飲料水などのほかにも、ご自身の健康状態を確認するための体温計など可能な限り、あらかじめ準備しておきましょう。

【準備しておくもの】

- ・マスク
- ・タオル
- ・石けん
- ・アルコール消毒液（ウェットティッシュ）
- ・体温計
- ・食料
- ・飲料水
- ・モバイルバッテリー
- ・ビニール手袋
- ・持病薬
- ・防寒具（定期的に換気を行うため、時期によって必要と思う場合に持参）



令和4年8月豪雨災害

記録的な豪雨が残した爪痕

8月3日に山形県南部を連続して襲った線状降水帯の影響により、県内では初となる大雨特別警報が本町を除く置賜3市4町に発令され、記録的短時間大雨情報も発表されるなど、置賜地方を中心に甚大な被害が発生いたしました。

本町でも降り始めからの累加雨量では232ミリを記録し、記憶に新しい令和2年7月豪雨、更には平成25年、26年の豪雨に匹敵する雨量を観測しました。また、町内を流れる最上川では氾濫危険水位を超えたため、一部地区に避難指示が出されました。さらに町内では冠水が発生し、道路（町道、林道など）や農地、農業用施設などで被害が発生しました。

近年は、気候変動や異常気象の影響で数十年に一度の豪雨災害等が、毎年全国で多発しています。町民の皆さまも今一度災害への万全の準備をお願いします。



冠水した雪舟町新田揚水機場（高玉地内）



押し寄せる川の水で田が浸水（下山地内）



道路が冠水（広野地内）

●状況の経過

日時	町内の状況
8月3日	16:51 大雨警報発令
	16:55 土砂災害警戒情報発令
	17:30 菖蒲観測所水防団待機水位を超過（12.8 m）
	20:20 小出観測所氾濫危険水位を超過（13.29 m）
	20:57 広野、菖蒲、荒砥新町に避難指示
	21:45 鮎貝一部地区、箕和田に避難指示
21:50 高岡地区内で土砂崩れにより一部道路通行止め	
8月4日	0:30 西部農免通行止め
	6:00 水防本部設置
	6:33 大雨特別警報解除
	13:55 土砂災害警戒情報解除
	15:54 全避難所閉鎖

8月3日豪雨による被害状況 （9月6日現在）

▼建物被害
床下浸水 1件

【農林関係の被害】

▼農作物 125.5ヘクタール

被害額 約4775万円

▼農地・農業用施設 12カ所

被害額 約2億7956万円

▼林道 6路線

【土木関係の被害】

▼道路3路線

被害額 約1430万円

【避難者の状況】

▼鮎貝地区コミュニティセンター

鮎貝小学校体育館 計 69人

▼荒砥地区コミュニティセンター

東根地区コミュニティセンター 計 75人

▼東根地区コミュニティセンター

東根小学校体育館 計 60人

合計避難者数 204人